

立川市立若葉台小学校

# 学校だより

令和2年10月2日発行

校長 井土 満  
〒190-0001  
立川市若葉町4-24-1  
TEL 042-536-3971  
FAX 042-534-6943  
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>



## 新しい教育

いづち みつる  
校長 井土 満

9月29日30日の運動会リハーサル(保護者参観日)には、平日にもかかわらず多くのご家族にご来校いただいたことに感謝申し上げます。本当なら、現校舎(旧若葉小学校校舎)で行われる「最後の運動会」だったので、児童、保護者やご家族、地域の皆様、教職員と、みんなで盛り上げた記念すべき運動会になるはずでした。

新型コロナウイルスの感染防止のためとはいえ、平日のリハーサルのみでの参観という形にしかできなかったのは、本当に残念なことです。しかし、平日であったにもかかわらず、各学年、児童数の倍近くのご家族に来ていただきました。もし、これが土休日の開催になれば2000人以上の児童や大人がひしめきあったかもということを見ると、しかたのなかったことなのだとも思えます。ともかく、運動会が実施できたことに、ほっとしています。

一方、リハーサルという形で見えていただいたことに、意外な感想も多く聞かれました。本番なら1回しか見られない表現活動も、練習を含めてじっくり見られたし、保護者の人数が少なかったので余裕をもって見られたという、前向きなご意見をたくさんいただきました。完成形ばかりでなく、先生たちの指導の様子が見られたのも良かったという声もありました。一方、紅白対抗形式、代表リレー、応援合戦、全校競技などがなかったこと、リハーサルなので徒競走の着順判定がなかったことが残念というご意見もいただきました。

新型コロナウイルスの流行は、学校行事だけでなく、社会全体を激変させています。会社に行かないで自宅で勤務するリモートワークや、対面することなくすすめられる大学のリモート授業などは、その際たるものです。

ある校長会議のあとの会話で、こんな話がでました。今の子供たちが大人になり、年を経て孫ができたのとき、その孫とこんな会話をするのはないだろうかという話です。

**祖父**：「おじいちゃんが子供の頃はね、朝になるとみんなで学校に行って、何百人もの子供たちが一斉に授業をうけて、お昼には向かい合って同じご飯を食べて、夕方になると家に帰ってきたんだよ。」 **孫**：(えっ!何百人も。密!!)

**祖母**：「そう言えば、みんなで手をつないでおどりを踊ったり(フォークダンス)、友達の上に乗ったりする体操(組み体操)なんていうのもありましたね」 **孫**：(素手で?)

**祖父**：「運動会の応援団で、みんなで大きな声を出させるのに、苦労したことを思い出したよ。」 **孫**：(運動会?応援団?)

**祖母**：「発表会や合唱コンクール、卒業式とか、なんでもみんなで大きな声を出していましたね。」 **孫**：(それって、マスクなしで?)

**祖父**：「楽しい思い出だね。」 **祖母**：「本当に昔話になってしまいましたね。」

**孫**：「なんてひどい、野蛮な時代だったの!!!」

もちろん自虐的な笑い話、作り話です。

それでも、学校や教育現場における、現在の様々な大変化には、江戸時代の寺子屋や藩校から始まり、明治以降作り上げてきた学校制度、教育経験の積み重ねが、ガラガラと崩れ始めているような、笑い話ですまされない、そんな不安感すらあります。今年から始まった新学習指導要領のキーワードは「主体的、対話的で深い学び」です。今までの学校の常識では「対話的」と言えば、1対1やグループで顔を突き合わせ、向かい合って話をするのでした。これからは「直接会わない、対面しない」「向き合わない」「声を出さない」という、新しい「対話的」を模索しなければならないのかもしれませんが、そうであってほしくない願いながらも、今まででは計り知れない「新しい未来の教育」が、すぐそこにあるのかもしれませんが。

運動会はその例です。運動会に限らず、授業に、行事に、全ての場面で、今までの常識とわれ過ぎず、でも今まで築き上げられてきた教育の歴史も大切にしながら、目の前の子供たちにしっかりと目を向けて、新しい教育をすすめるべきなのだと思います。

「新しい」と言えば新校舎ですが(ちょっと強引...)、引越しまで半年を切りました。長雨、猛暑、コロナ禍にも影響されず、工事は予定どおり進んでいますとの、報告を受けています。



2年生「風をきって ~心をついに~」

## 10月の生活目標

10月の生活目標は「挨拶をしよう～相手の気持ちを考えた言葉遣いをしよう～」です。学校生活はまだまだ日常がもどってきたとはいき切れません。子供たちは日々様々な不安やストレスを感じながらも前向きに学校生活を送っているように感じます。令和2年度も後半に入っていきます。次の学年へのステップアップに向けて、まずは「挨拶」「言葉遣い」など基本的な生活態度を学校全体で見直し、育てていきたいと考えています。特に登下校中の地域の方への挨拶、友達や大人への言葉遣いなどの大切さについて、ご家庭でも話題にいただけたらと思います。



生活指導主幹 久留 申大

## 「なわとび週間」に向けて（全学年）

10月12日（月）～30日（金）の期間で、短縄の取り組みを行います。東京都では体力向上の取り組みとして、各校の実態に合わせて全校で一緒に取り組むことを決めて実施することになっています。本校ではその一環として、全校共通の「なわとびカード」を使用し、短縄に取り組みます。できる技を増やすと同時に、30秒間で何回跳ぶことができたかを記録し、伸びを実感できるようにしています。「30秒間で70回以上」できると、手首の使い方が上手になった目安になるそうです。この期間中、ご家庭でも縄跳びの話題を出して応援していただき、子供たちの体力向上にご協力をお願いします。

体育主任 浅野 剛基

## 10月の予定

- |   |   |
|---|---|
| 2日（金）運動会（公開無し）<br>給食あり<br>※1～5年生は13時頃下校します。<br>※6年生は14時頃下校します。  | 19日（月）読書週間（始）<br>アートキャラバン（始）<br>交通安全教室（4年 5年 6年）          |
| 5日（月）委員会活動③   | 20日（火）ぐんぐん算数（5年）  |
| 6日（火）児童朝会（放送） 安全指導日<br>内科検診（4年 たんぽぽ）                            | 21日（水）図書集会<br>アートキャラバン（4年）<br>クラブ活動④                      |
| 8日（木）鑑賞教室<br>3、4時間目（1年 5年1、2組 たんぽぽ）<br>5、6時間目（3年 5年3、4組）        | 22日（木）校外学習（たんぽぽ）<br>耳鼻科検診（4年 5年 6年）                       |
| 9日（金）鑑賞教室<br>3、4時間目（2年 6年2、4組）<br>5、6時間目（4年 6年1、3組）<br>内科検診（5年） | 23日（金）校外学習（たんぽぽ）<br>アートキャラバン（終）<br>ぐんぐん算数（3、4年）           |
| 12日（月）なわとび月間（始）   | 26日（月）ファーレ見学<br>5年1組 9時10分～<br>5年4組10時10分～<br>5年3組13時10分～ |
| 13日（火）児童朝会（放送） 歯科検診（4年）<br>救命救急講習（6年）<br>車椅子体験（4年2組）            | 27日（火）ファーレ見学<br>5年2組 9時10分～<br>歯科検診（2年）<br>ぐんぐん算数（5年）     |
| 14日（水）なわとび集会<br>車椅子体験（4年1組）<br>クラブ活動③                           | 28日（水）歯科検診（1年 たんぽぽ）<br>キッズクラブ②                            |
| 15日（木）避難訓練④<br>車椅子体験（4年3組）                                      | 30日（金）生活科見学（1年）<br>読書週間（終）<br>なわとび月間（終）                   |
| 16日（金）自転車教室（3年）   |   |
| 17日（土）土曜日授業（公開なし）<br>セーフティ教室（全学年）<br>給食なし<br>※全学年11時30分頃下校します。  |   |

